

14

どんな状態でどんなサービスが受けられる？



家族も自分も今は健康ですが、どんな状態になったら介護が必要か、どんな介護が受けられるのかなど、初歩的な知識が全くないので、その知識を得たいです。

[80代以上]



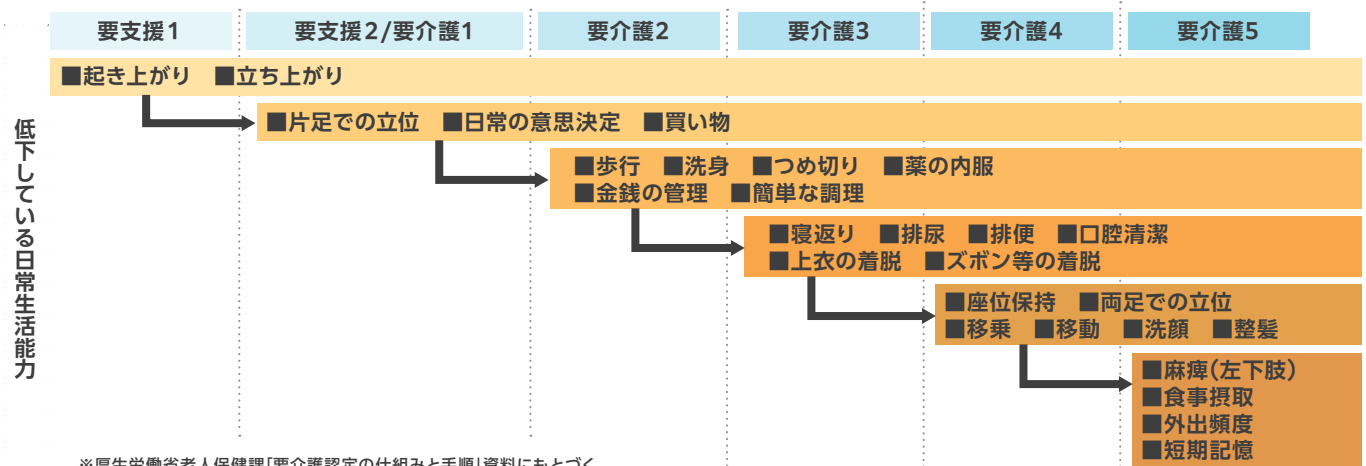
介護保険制度では介護を受ける方の状態に応じた介護サービスが受けられ、生活をサポートしてもらえます。どの程度の介護を必要とするのかを表すものさしが「要介護度」で、大きく「要支援」と「要介護」があります。



要介護度(要介護認定区分)のイメージ

要支援には要支援1～2の区分があり、要介護には要介護1～5の区分があります。各区分の状態像の定義というものはありませんが、区分が上がるにつれ、概ね下図の能力の低下が見られます。足の力の低下から要介護度の進行が始まることがうかがえます。

【要介護状態区分別の状態像(80%以上の割合で何らかの低下が見られる日常生活能力)】



※厚生労働省老人保健課「要介護認定の仕組みと手順」資料にもとづく。

要支援と要介護の違い

要支援	<ul style="list-style-type: none">●日常生活は自分で送れますが、部分的に支援が必要な状態です。●介護予防を目的としたサービスが受けられます(予防給付)。
要介護	<ul style="list-style-type: none">●一人で日常生活を送ることが難しく、誰かの介護が必要な状態です。●要介護度に応じた介護サービスを受けられます(介護給付)。

要介護度に応じて利用できるサービス

要介護度が進行するにつれ、介護の難度も高まりますが、利用できるサービスも広がります。サービス内容は→[25](#)[28](#)もチェックしてみてください。

要介護1~2	<ul style="list-style-type: none">●3分の2以上の方が在宅で介護を受けています。●訪問介護・通所サービス等の各種介護サービスを、全体として概ね1日1回程度受けられます。
要介護3	<ul style="list-style-type: none">●公的な特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)の利用ができるようになります。●車いす・介護ベッドの貸与も受けられます。
要介護4~5	<ul style="list-style-type: none">●過半数の方が施設で介護を受けています。●毎日の訪問介護を含め、各種介護サービスを概ね1日3回程度受けられます。

寝たきりの要介護度

いわゆる「寝たきり」では、要介護5に該当することが多くなります。食事や排せつなどの日常生活全般で24時間体制での介護が必要となるためです。一定のコミュニケーションがとれる場合は、要介護4に認定されることもあります。

認知症の要介護度

認知症の症状の重さ等によって、要介護度の認定が異なります。日にちを忘れるなどの軽度の場合は要支援と認定されることもあります。理解力や判断力が低下している場合は概ね要介護と認定されます。